

◆区財政について

①国の施策に対する対応は。②平成25年度予算編成方針は。③財調協議への見解と特別交付金の協議状況は。④財政白書の内容と発行時期は。

①事業前倒し等を検討。②選択と集中のさらなる徹底。③一定の成果。特別交付金は都区で一致せず。④対応の方向性等を例示。今定例会中。

◆都区制度について

①都区のあり方検討委員会での事務配分の検討状況と一括法による権限移譲との関係と見解は。②大都市制度の中間報告と「大都市地域特別区設置法」に対する見解は。

①検討状況の確認。喫緊の課題に対応すべく整理必要。②今後の議論を注視。基礎自治体として設置すべき。

◆外郭団体について

①区の基本的な認識は。

◆新年度の予算について
①基本的な考えと持続可能な財政運営を。②財調協議の特別交付金と減収対策は。③都市計画交付金の拡大を。④国の予算編成との連携は。

①区民福祉のさらなる向上。財政白書を活用し取組み検討。②重要な課題。引き続き取り組む。③制度充実を主張。④動向注視。的確迅速に運営。

◆地域医療計画について
①かかりつけ医の啓蒙活動と登録制を。②在宅療養の医療機関の確保を。③基準病床数の確保を。④新病院を大

①講習会開催等。登録制は検討。②支援病院整備に取り組み。③国・都に見直し要請。④協議中。⑤進める。

◆財政と行政改革について
①新たな歳入の確保を。

②指導監督と外郭団体運営の透明性の確保は。③区議会の団体への関わり方への見解は。④指導致綱定め、経営状況等報告する仕組みを整備。⑤必要。

①ハード・ソフト両面で総合的に進める。②実情に応じ行う。③希望の防災会に配備。訓練の促進。

◆施設等の有効活用について

①光が丘と練馬駅周辺の空き施設の活用は。②総合的な空き施設活用の方策は。

①検討。②新たな行政需要等勘案し、有効活用を図る。

◆災害対策について

①区の災害に対する取り組みは。②防災会への支援と助成金のあり方は。③スタン

①基金と区債の現在高は。②財源確保と歳入の見直しは。③生活保護費は全額国費で。

①保育所、高齢者施設等の適切な行政サービスを有効的に受けられる体制を。

①ふるさと納税制度活用等を検討。②基金残高は約545億円、起債残高は約592億円。③大幅増収は困難。④国に働きかけている。⑤進める。⑥職員128人を削減。8施設を民営化、48施設で指定管理者制度等導入。⑦全庁挙げて推進。

◆少子高齢社会の対応について

①光が丘と練馬駅周辺の空き施設の活用は。②総合的な空き施設活用の方策は。

①検討。②新たな行政需要等勘案し、有効活用を図る。

◆災害対策について

①区の災害に対する取り組みは。②防災会への支援と助成金のあり方は。③スタン

①基金と区債の現在高は。②財源確保と歳入の見直しは。③生活保護費は全額国費で。

①保育所、高齢者施設等の適切な行政サービスを有効的に受けられる体制を。

①ふるさと納税制度活用等を検討。②基金残高は約545億円、起債残高は約592億円。③大幅増収は困難。④国に働きかけている。⑤進める。⑥職員128人を削減。8施設を民営化、48施設で指定管理者制度等導入。⑦全庁挙げて推進。

◆少子高齢社会の対応について

区政運営に独立自尊の精神を！

練馬区議会自由民主党 福沢 剛

①光が丘と練馬駅周辺の空き施設の活用は。②総合的な空き施設活用の方策は。

①検討。②新たな行政需要等勘案し、有効活用を図る。

①区の災害に対する取り組みは。②防災会への支援と助成金のあり方は。③スタン

①基金と区債の現在高は。②財源確保と歳入の見直しは。③生活保護費は全額国費で。

①保育所、高齢者施設等の適切な行政サービスを有効的に受けられる体制を。

①ふるさと納税制度活用等を検討。②基金残高は約545億円、起債残高は約592億円。③大幅増収は困難。④国に働きかけている。⑤進める。⑥職員128人を削減。8施設を民営化、48施設で指定管理者制度等導入。⑦全庁挙げて推進。

◆少子高齢社会の対応について

た課題と区の決意は。健康福祉 ①4月に常勤換算で医師100人、看護師250人程度利用徐々に増加。②公的役割を期待。建替協議開始。③関係者等と交渉。④中核的病院として支援。⑤周辺診療所の後方支援等。整備は関係者と協議中。⑦病床数の配分等。国・都に働きかける。

①小中一貫教育への今後の取り組みは。②2校目の小中一貫教育校の整備は。③適正配置への今後の取り組みは。

①区内全域に広げる。②進める。③協議組織で検討。

①区内通学路の安全面における課題と対策は。②課題個所に交通安全指導員等の配置を。③通学路の整備等に必要な財源確保を。

①交通量の変化等が増員等を図る。③国の補助金等を積極的に活用。

①がん検診率向上のための方策は。②がん診療連携拠点病院整備・緩和ケア提供体制強化・地域がん登録の推進を。③小児がん患者への医療体制整備を。④がん相談支援

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①在宅介護の支援体制強化の現状と課題は。また今後のセンターの周知を。⑤がん先進医療ロインの利子補給制度創設と医療費負担の拡充を。

①他自治体の先行事例も参考に受診率向上に努める。②国や都道府県を中心に取組みが開催されているが、区の事例等を参考に検討。②より効果的な情報提供に取り組み。③区内医療機関に協力を求める。④働きかけを検討。

①安倍政権後の展開の感想は。②予算編成の留意事項と対応は。また、持続可能な区財政運営の展望は。

①首相の強いリーダーシップに期待。②限りある財源を長期計画事業に重点的に配分。区民の理解と協力的もと、さらなる改革が肝要。

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①在宅介護の支援体制強化の現状と課題は。また今後のセンターの周知を。⑤がん先進医療ロインの利子補給制度創設と医療費負担の拡充を。

①他自治体の先行事例も参考に受診率向上に努める。②国や都道府県を中心に取組みが開催されているが、区の事例等を参考に検討。②より効果的な情報提供に取り組み。③区内医療機関に協力を求める。④働きかけを検討。

①がん検診率向上のための方策は。②がん診療連携拠点病院整備・緩和ケア提供体制強化・地域がん登録の推進を。③小児がん患者への医療体制整備を。④がん相談支援

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①在宅介護の支援体制強化の現状と課題は。また今後のセンターの周知を。⑤がん先進医療ロインの利子補給制度創設と医療費負担の拡充を。

①他自治体の先行事例も参考に受診率向上に努める。②国や都道府県を中心に取組みが開催されているが、区の事例等を参考に検討。②より効果的な情報提供に取り組み。③区内医療機関に協力を求める。④働きかけを検討。

①新規採用職員に「言語技術教育」の導入を。②教育現場への浸透を。③効果的で実践的な研修に取り組み。④定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを24年11月から4事業所

①効果的で実践的な研修に取り組み。④定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを24年11月から4事業所

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①在宅介護の支援体制強化の現状と課題は。また今後のセンターの周知を。⑤がん先進医療ロインの利子補給制度創設と医療費負担の拡充を。

①他自治体の先行事例も参考に受診率向上に努める。②国や都道府県を中心に取組みが開催されているが、区の事例等を参考に検討。②より効果的な情報提供に取り組み。③区内医療機関に協力を求める。④働きかけを検討。

①がん検診率向上のための方策は。②がん診療連携拠点病院整備・緩和ケア提供体制強化・地域がん登録の推進を。③小児がん患者への医療体制整備を。④がん相談支援

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①在宅介護の支援体制強化の現状と課題は。また今後のセンターの周知を。⑤がん先進医療ロインの利子補給制度創設と医療費負担の拡充を。

①他自治体の先行事例も参考に受診率向上に努める。②国や都道府県を中心に取組みが開催されているが、区の事例等を参考に検討。②より効果的な情報提供に取り組み。③区内医療機関に協力を求める。④働きかけを検討。

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①在宅介護の支援体制強化の現状と課題は。また今後のセンターの周知を。⑤がん先進医療ロインの利子補給制度創設と医療費負担の拡充を。

①他自治体の先行事例も参考に受診率向上に努める。②国や都道府県を中心に取組みが開催されているが、区の事例等を参考に検討。②より効果的な情報提供に取り組み。③区内医療機関に協力を求める。④働きかけを検討。

①がん検診率向上のための方策は。②がん診療連携拠点病院整備・緩和ケア提供体制強化・地域がん登録の推進を。③小児がん患者への医療体制整備を。④がん相談支援

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①在宅介護の支援体制強化の現状と課題は。また今後のセンターの周知を。⑤がん先進医療ロインの利子補給制度創設と医療費負担の拡充を。

①他自治体の先行事例も参考に受診率向上に努める。②国や都道府県を中心に取組みが開催されているが、区の事例等を参考に検討。②より効果的な情報提供に取り組み。③区内医療機関に協力を求める。④働きかけを検討。

①がん検診率向上のための方策は。②がん診療連携拠点病院整備・緩和ケア提供体制強化・地域がん登録の推進を。③小児がん患者への医療体制整備を。④がん相談支援

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①在宅介護の支援体制強化の現状と課題は。また今後のセンターの周知を。⑤がん先進医療ロインの利子補給制度創設と医療費負担の拡充を。

①他自治体の先行事例も参考に受診率向上に努める。②国や都道府県を中心に取組みが開催されているが、区の事例等を参考に検討。②より効果的な情報提供に取り組み。③区内医療機関に協力を求める。④働きかけを検討。

①がん検診率向上のための方策は。②がん診療連携拠点病院整備・緩和ケア提供体制強化・地域がん登録の推進を。③小児がん患者への医療体制整備を。④がん相談支援

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①在宅介護の支援体制強化の現状と課題は。また今後のセンターの周知を。⑤がん先進医療ロインの利子補給制度創設と医療費負担の拡充を。

①他自治体の先行事例も参考に受診率向上に努める。②国や都道府県を中心に取組みが開催されているが、区の事例等を参考に検討。②より効果的な情報提供に取り組み。③区内医療機関に協力を求める。④働きかけを検討。

①がん検診率向上のための方策は。②がん診療連携拠点病院整備・緩和ケア提供体制強化・地域がん登録の推進を。③小児がん患者への医療体制整備を。④がん相談支援

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。



安全・安心な通学路の整備で子どもを守れ！

練馬区議会公明党 吉田 ゆり

①区内通学路の安全面における課題と対策は。②課題個所に交通安全指導員等の配置を。③通学路の整備等に必要な財源確保を。

①交通量の変化等が増員等を図る。③国の補助金等を積極的に活用。

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①在宅介護の支援体制強化の現状と課題は。また今後のセンターの周知を。⑤がん先進医療ロインの利子補給制度創設と医療費負担の拡充を。

①他自治体の先行事例も参考に受診率向上に努める。②国や都道府県を中心に取組みが開催されているが、区の事例等を参考に検討。②より効果的な情報提供に取り組み。③区内医療機関に協力を求める。④働きかけを検討。

①がん検診率向上のための方策は。②がん診療連携拠点病院整備・緩和ケア提供体制強化・地域がん登録の推進を。③小児がん患者への医療体制整備を。④がん相談支援

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。

①在宅介護の支援体制強化の現状と課題は。また今後のセンターの周知を。⑤がん先進医療ロインの利子補給制度創設と医療費負担の拡充を。

①他自治体の先行事例も参考に受診率向上に努める。②国や都道府県を中心に取組みが開催されているが、区の事例等を参考に検討。②より効果的な情報提供に取り組み。③区内医療機関に協力を求める。④働きかけを検討。

①がん検診率向上のための方策は。②がん診療連携拠点病院整備・緩和ケア提供体制強化・地域がん登録の推進を。③小児がん患者への医療体制整備を。④がん相談支援

①区内の認知症の高齢者の推計は。②国の進める認知症患者への「サポート医」「かかりつけ医」の体制整備への考えは。③高齢者相談センターと医師会との認知症支援の連携の現状と今後の課題は。



◆避難拠点の充実について  
 ①寒さ対策用発電機の増設導入を。②段ボールベッド・寝袋の備蓄を。③防災活動拠点の役割を小中学校に加えられる。④福祉避難所に視覚障がい者のための「電話によるナビゲーション装置」、聴覚障がい者のための「放送情報通信装置」の設置を。

◆持続可能な都市農業について  
 ①地元産の新鮮な農産物を、直売所の増加や学校給食への更なる拡充を。②「防災協力農地」の固定資産税の軽減を。③相続税の改善を国に働きかけられたい。④都市型認定農業者の要件緩和を。

◆みどり30推進計画について  
 ①みどりの減少対策を。②集合住宅の緑化対策を。③保護樹木剪定と管理費用負担の検討を。④税率を含む練馬型農地保全システムの確立を。

◆農の学校について  
 ①修了生と農家のマッチングの課題は。②受講生の継続的確保は。③修了生が管理運営できる仕組みを。④施設整備への考えは。⑤開設は、農業者・区民の意見反映を。

◆区民生活  
 ①登録制度・交流等で工夫。②幅広い講座設定等。③国に制度改善を要望。④既存施設の活用を含め検討。⑤運営協議会準備会で検討。

◆区民大学について  
 ①目的と卒業生の就職先や活動するコミュニティの検

産地消を推進。②国に農地保全に資する制度の改善を強く求めてきた。③多くの農業者が利用できるよう更に工夫。◆男性介護者支援について  
 ①男性介護者支援の環境整備を。②男性介護者の実態

取得する。④支援。⑤検討。◆公共交通空白地域の改善について  
 ①みどりバスの保谷駅の発着場所を同地点に。②乗合タクシーの実証実験の延長を。

◆環境まち  
 ①精神的に取り組む。②利用者の認知等を考慮し、まずは6か月を基本に実施。③利用者の負担の軽減策を含めて検討。④改善計画を

調査の実施を。③最大限のサービス利用のため関連施設の増設を。④専用のサークルの立ち上げと周知を。⑤男性介護者限定の研修会の開催を。

◆環境まち  
 ①精神的に取り組む。②利用者の認知等を考慮し、まずは6か月を基本に実施。③利用者の負担の軽減策を含めて検討。④改善計画を

◆環境まち  
 ①精神的に取り組む。②利用者の認知等を考慮し、まずは6か月を基本に実施。③利用者の負担の軽減策を含めて検討。④改善計画を

◆環境まち  
 ①精神的に取り組む。②利用者の認知等を考慮し、まずは6か月を基本に実施。③利用者の負担の軽減策を含めて検討。④改善計画を

◆環境まち  
 ①精神的に取り組む。②利用者の認知等を考慮し、まずは6か月を基本に実施。③利用者の負担の軽減策を含めて検討。④改善計画を

### 持続可能な都市農業の推進を！

練馬区議会公明党 光永 勉

◆環境まち  
 ①精神的に取り組む。②利用者の認知等を考慮し、まずは6か月を基本に実施。③利用者の負担の軽減策を含めて検討。④改善計画を

◆環境まち  
 ①精神的に取り組む。②利用者の認知等を考慮し、まずは6か月を基本に実施。③利用者の負担の軽減策を含めて検討。④改善計画を

◆環境まち  
 ①精神的に取り組む。②利用者の認知等を考慮し、まずは6か月を基本に実施。③利用者の負担の軽減策を含めて検討。④改善計画を

◆環境まち  
 ①精神的に取り組む。②利用者の認知等を考慮し、まずは6か月を基本に実施。③利用者の負担の軽減策を含めて検討。④改善計画を

◆環境まち  
 ①精神的に取り組む。②利用者の認知等を考慮し、まずは6か月を基本に実施。③利用者の負担の軽減策を含めて検討。④改善計画を

### 待機児童の解消を！

練馬区議会自由民主党 むらまつ 一希

◆待機児童対策について  
 ①保育定員数の目標増を。②受益者負担の観点から保育料見直しを。③入所審査のポイント制の考え方は。④保育所未利用家庭へのサービス拡

◆待機児童対策について  
 ①保育定員数の目標増を。②受益者負担の観点から保育料見直しを。③入所審査のポイント制の考え方は。④保育所未利用家庭へのサービス拡

# 区政を問う

## 一般質問(要旨)

◆点検し、新たな対応策を検討。⑤誰もが快適に移動できる交通環境の実現に取り組む。⑥地域とまちづくりを進める。◆学校施設における老朽化対策について  
 ①劣化診断等を客観的かつ総合的に把握されたい。②問題の非構造物は早急に耐震化工事の実施を。③長寿命化のための中長期計画策定並びに推進体制の整備を。

◆災害に強いまちづくりについて  
 ①耐震化・不燃化の推進を。②新たな地域防災の担い手として、中学生や定年を迎える世代に協力を仰ぐなど、区民防災組織の強化を。③災害時要援護者名簿の未登録者の保護に関する区の方針は。また、登録者についても平常時から民生委員や地域防災会と情報共有し、災害弱者の保護を。

◆みどりバスについて  
 ①南大泉ルートの運行体系は。保谷駅接着の早期実現を。②氷川台ルートの検討状況と練馬駅への接着の早期再編を。③ねり丸の活用を。④車内と停留所広告の検討状況は。⑤環状八号線を導入空間とするバス路線新設の検討状況は。⑥公共交通空白地域の改善への意気込みは。

◆環境まち  
 ①本年3月延伸運行開始、停留所を10か所新設。取り組む。②運行業者等と協議中。25年度運行開始に向け取り組み中。③進める。④調整中。⑥積極的に取り組む。

◆参加促進を図る。福祉  
 ③援護が必要な方全ての名簿整備を目指す。本人同意に基づき民生委員や防災会と情報共有。◆継続的な被災地支援について  
 ①被災地の物品販売を。②ふるさと納税制度を活用し

◆学校現場の問題を解決する  
 ①子どもたちに「政治参加の機会や投票の意味」をしっかりと理解させるために、学校教育における政治教育の取り組みを。②若年層が利用する施設(駅やスーパー)に期日前投票所の設置を。

◆選挙管理  
 ①授業の一環として、選挙体験教室等を実施。今後とも学校との連携を密にする。②若年層にとっての利便性の観点を検討。

### 首都直下地震を想定した防災対策の推進を

練馬区議会無所属 藤井 とものり

◆支援を改めて周知すべき。また、被災自治体への納税額の実績値は。③修学旅行や校外学習の訪問先として被災地を選ぶことも含めて、観光を通じた支援を。

◆区民生活  
 ①今後も、被災地の産業復興支援に努める。②引き続き周知。区民によるふるさと納税の総額は、3億5

◆教育長  
 ①教育委員会が関わる事例は年間4〜5件程度。②専門的な見地から支援する

◆ための教育委員会の体制強化について  
 ①学校現場から教育委員会に対して、支援要請がどの程度上がってきているか。②区教育委員会独自の問題解決チームの創設を。

◆区民生活  
 ①今後も、被災地の産業復興支援に努める。②引き続き周知。区民によるふるさと納税の総額は、3億5

◆教育長  
 ①教育委員会が関わる事例は年間4〜5件程度。②専門的な見地から支援する

◆体制構築に向け準備を進める。◆世代間格差の解消について  
 ①将来世代に過大な負担を負わせることなく、サービスの安定提供は区の責務。区政における世代間格差についての認識は。②次世代のための予算編成の仕組みを。

※2 デイジー…カセットテープに代わる次の世代の録音図書のための国際標準規格。

本庁舎1階アトリウムで本会議の生中継を試行的に放映しました

これまで、本会議の録画放映を区議会ホームページで公開してきました。今定例会では、これに加えて、生中継を練馬区役所本庁舎1階アトリウムのテレビモニターで試行的に行いました。

声の区議会だより ~デイジー版を発行します~

目の不自由な方を対象に、本誌をカセットテープに録音した「声の区議会だより」を、希望する方に無料でお送りしています。次号(平成25年第二回定例会号)からは、デイジー版(CD-R)も発行しますので、ご希望の方は下記へお問い合わせください。(なお、「点字版区議会だより」をご希望の方もお問い合わせください。)

議会事務局調査係 5984-4736